

# 会話における割り込み発話についての考察

—日本語母語場面と中国語母語場面の対照研究—

劉佳琿

## 要 旨

本研究は日中両言語で行われた4人の大学生の進路に関するディスカッションにおける割り込み発話を分析したものである。その結果、日本語母語場面では文末における割り込みが多く、中国語母語場面では発話の途中における割り込みが多いことが分かった。また、日本語母語場面では補足的あるいはコメント的な割り込み発話が多く、話者が相手と共同で意見を構築する傾向が見られた。それに対し、中国語母語場面では会話の主導権を取る割り込み及び共話的な表現が多く、相手の発話の途中で自分の意見を述べ始める傾向が見られた。更に、割り込みが現れた後の会話の展開について、日本語母語場面では会話参加者全員が徐々にフロアを共有する傾向があるのに対し、中国語母語場面では会話参加者全員が競争的に各自のフロアを構築する傾向があることが分かった。

キーワード：日本語母語場面 中国語母語場面 発話 割り込み フロア

## 1. はじめに

会話において、現話者が1人が話をしているうちに次話者が割り込んで、発話権を取ろうとすることがある。会話参加者が2人の場合は現話者から発話権を取るだけであるが、3人以上の会話の場合は、現話者だけでなく、他の聞き手からも発話権を取る必要がある。そのため、次話者は現話者の会話に割り込んで、発話権を取ると同時に、他の聞き手が発話権を取らないようにするという複雑な会話のストラテジーが必要になる。

本研究では日本語及び中国語の4人会話における割り込み発話を対象に分析し、割り込まれた話者の発話において、割り込み発話が現れた位置と割り込み発話の機能的な特徴を分析するとともに、1つの割り込みが生じた後に、複数の会話参加者によって産出された話者交替 (turn-taking) のパターンを明らかにすることを目的とする。

## 2. 先行研究と本研究の位置付け

次に、本研究に関わる先行研究を概観し、本研究の位置付けを示し、研究課題を設定する。話者交替 (turn-taking) のルールについては、Sacks, Schegloff & Jefferson (1974) で以下の表 1 のように提示されている。(日本語訳は木暮 (2002) による)

表 1 話者交替のルール

1) すべての turn において、最初の turn 構成単位の最初の「移行適切箇所 (Transition Relevance Place : TRP)」では、 A 現在 turn をもっている話し手が次の話し手を選ぶ場合には、選ばれた話し手だけが turn を取る権利と義務をもつ； B 現在 turn をもっている話し手が次の話し手を選ばない場合には、その話し手以外の会話参加者全員が次の turn を取れる。そのうち、最初に話し始めた人が turn をもつ権利がある； C 現在 turn をもっている話し手が次の話し手を選ばず、かつ次の turn を取る人がいない場合、現在 turn をもっている話し手が続けて話すことができる。
2) 最初の turn 構成単位の最初の TRP で、1) A も 2) B も適用されず、1) C の条件のもとで現在の話者が話し続けた場合、次の TRP において 1) A ~ 1) C が再び適用され、話者の交替が起こるまで反復される。

Sacks 他 (1974) による話者交替のシステムでは、会話のやりとりにおいて「一度に一人が話す」のがルールであり、「割り込み発話」はそのルールに違反したものと見なされている。なぜ現話者の発話が終わらないうちに次話者が話し始めるという「ルール違反」が生じるのかについては更に分析する必要がある。そこで、本研究では割り込みが現れた位置と割り込み発話の機能という観点から割り込みについて考察する。

発話の重なり及び割り込みの分類について、深澤 (1997) は発話と turn との関連によって、割り込み発話を「turn 取りのための割り込み」、「話し手への働きかけのための割り込み」、「早めの発話の開始のための割り込み」の 3 つに分類している。生駒 (1996) は turn の重なりにおいては「発話の頭と頭が重なる場合」、「先行発話の末尾と重なる場合」、「先行発話の途中で重なる場合」の 3 つがあるとし、重なりには「偶発的」、「予測的」、「無意識的」の 3 つの性質があることを指摘している。また、木暮 (2002) は重なりを基準にし、turn の重なりを「同時開始型」、「終了見なし型」、「割り込み型」に分けている。

以上のように先行研究で turn の重なりを物理的な位置については論じられているものの、その位置による割り込みの分類基準に恣意的な面が見られる。また、発話文において、どこが途中で、どこが末尾かを判断する基準が不明確である。しかも、先行研究では割り込みが生じた後に、会話がいかにして展開されていくのかについては詳しく議論されて

いない。また、先行研究では2人での会話を中心に分析されてきたが、3人以上の会話では次の発話権を誰が取るかという点で、2人会話にはない聞き手同士の発話権の取り合いがあり、そこに母語によって異なるルールがあると考えられる。そこで本研究では、以下の3つの観点から、4人会話における「割り込み発話」による話者交替の特徴について、日中両母語場面の違いを分析する。

- (1) 割り込みの位置の特徴について
- (2) 先行発話との関係による割り込み発話の機能について
- (3) 割り込み発話の後における会話の展開の特徴について

### 3. 調査方法

本研究では日本語母語話者（以下 JNS）の会話4組と中国語母語話者（以下 CNS）の会話4組を分析対象とする。各グループの被調査者は4人で、計32人である。被調査者は全員大学生で、クラスメート同士である。被調査者に「不景気である今、あなたは将来の進路についてどう考えているのか」というトピックについて10～15分ほどディスカッションしてもらい、その活動を録音・録画した<sup>2)</sup>。全収録時間は95分18秒である。

### 4. 用語の整理

本研究における用語について以下のように規定する。

#### 1 turn の構成単位 (Turn Constructional Unit : TCU)

turn とは会話における発話の順番のことである。turn の移り変わりを話者交替と呼ぶ。榎本（2008）は「TCU は、文、節、句、単語などさまざまなタイプの単位からなる」と指摘している。それに基づき、本研究では「一人の話者が1つの言語行動を遂行するために話し始めてから話し終わるまでの発話文<sup>3)</sup>の集合」のことを1つの turn とする。

#### 割り込み発話<sup>4)</sup>

現話者が話している途中で、次話者が挿入する発話のことである。その機能として割り込み話者が割り込まれた話者から発話権を取る場合と取らない場合がある。

#### フロア (floor)

フロアは「会話分析に基づくフロア」と「相互行為分析に基づくフロア」に分けられる。「会話分析に基づくフロア」は Sacks（1972）によると、turn を取るという行為が「話す権利」を要求する方法であると

されている。この権利をフロアと呼ぶ。一方、「相互行為分析に基づくフロア」は Edelsky (1981) によると、話す権利を持っていると認識している時間・空間であるとされている。フロアを所有する会話参加者は turn に関して特定の状況において今何が起こっているのかを認識している。その「何が起こっているのか」というのはトピックまたは機能（からかいや応答を引き出す等）あるいはこの二つの混合を含むものである。（日本語訳は高原他（2002）と中井（2006）による）本研究で取り上げた「フロア」は相互行為の立場におけるフロアである。

## 5. 割り込みの位置と割り込み発話の機能

### 5.1 割り込みの位置

本研究では、割り込みの位置について、「発話文末の割り込み」、「発話文中の割り込み」、「従属節直後の割り込み」という分類基準を定める。その具体例を表2に示す。

表2 割り込み位置の分類（網掛け部分は割り込み発話）

割り込みの位置	特徴	例
発話文末	割り込み話者にとって知りたい情報が得られた時点において割り込みが起きている。主節或いは従属度が弱い従属節の後に起きやすい。	<p>(日)</p> <p>1D-J4<sup>5)</sup>: そうだね. そう考えると進学かもな[確かに 2D-J2: [納得は行く. こ れ就職できなくてもまあそこチャンスあったけども, 自 分-でも自分がしたいと思ったからって</p> <p>(中)</p> <p>1B-C3: 然后你为什么不享受一下这种生活呢, 简单一点的生[活 2B-C4: [那 以后可能也就没有了是吧</p> <p>和訳</p> <p>1B-C3: そしてあなたはなんでそのような生活を楽しまないの? その単純な生[活など</p> <p>2B-C4: [そのような生活はこれからももうないか も</p>
発話文中	割り込み話者にとって知りたい情報がまだ言い終わっていないうちに割り込みが起きている。述部が完全に産出されていないうちに起きている。	<p>(日)</p> <p>1B-J4: 研究自体はおれは[ 2B-J1: [臨床研究じゃないけどこうしゅう-勉 強しながらも, 働けるんみたい</p> <p>(中)</p> <p>1A-C3: 你也不一定学语言嘛对吧, 你学点自己感[兴趣是很一定 2A-C4: [喜欢的或者是 你觉得以后可能会用到的</p> <p>和訳</p> <p>1A-C3: あなたも言語を研究するとは限らないでしょう. あなた が勉強できるのは自分が[興味があるもの</p> <p>2A-C4: [好きなことかあるいは今後使え そうなもの</p>
従属節直後	複文的な発話文の従属節の後に割り込みが起きている。	<p>(日)</p> <p>1B-J1: そうめい - 名誉職につきたいなら[ 2B-J3: [なら博士号</p> <p>(中)</p> <p>1C-C1: 你那个深造两年半, 说不多, 但是你出来[以后 2C-C4: [就得要孩子了</p>

		和訳 1C-C1: 2年半という時間は長くないけど卒業したら[ 2C-C4: まなきゃいけないね [子供を産
--	--	--

次は日中両場面における割り込み位置別の割り込みの出現頻度である。

表3 割り込み位置別の出現頻度 (回数)

場面	割り込み位置	発話文末	発話文中	従属節	合計
	JNS	36	21(p<0.001)	6 (n.s.)	63
	CNS	15(p<0.001)	50	15	80

割り込み発話の全体的な出現頻度は、JNSよりCNSの方が多い。そして文末の割り込み及び文中の割り込みはJNSとCNSの間に有意差が見られた(p<0.001)。一方、従属節の割り込みは日中両場面の間に有意差が見られなかった(X<sup>2</sup>(2)=22.648, n.s.)。これらの要因について以下のように考えられる。

発話文末の割り込みにおいては、JNSの頻度が高くなるのは日本語ではSOVという語順を取っており、文末の述語まで聞かないと発話全体の意味が捉えにくいからと考えられる。聞き手は述部が産出されることにより話し手の発話意図を受け止め、自分の発話を始める。一方、中国語ではSVOという語順を取っているため、聞き手は述語まで聞けば話し手の言いたい意味が大体予測できる。その時点で割り込んで話を始める。そのため、CNSの文末の割り込みはJNSよりも少なくなると考えられる。

発話文中の割り込みにおいては、JNSの頻度はCNSより少ない。JNSが発話を構築する際に文節と文節の区切り(格助詞の後)にポーズを置いたり、間投詞「さあ」を使用したりする。それに、複数の文を連ねて発話を構築する際に、文末に「…じゃない(じゃん)」などのような形式を使用したりする。そうすることによって、話し手が聞き手に自分の話がまだ終わっていないという合図を送っていると考えられる。その時点において、聞き手はあいづちをうつことがある<sup>6)</sup>。以上のことにより、他の話者は現話者の発話に割り込みをしにくくなる。一方、中国語では、文節と文節の区切りに格助詞が使われず、文末にも日本語のような明確な終止形がないため、聞き手にとって話し手の発話がどこまで続くかについては判断しにくい。そのため、CNSの文中の割り込みの使用頻度が高くなると考えられる。

従属節直後の割り込みにおいては、JNSとCNSの間に有意差が見られなかったが、表3内の数字から、CNSはJNSより使用頻度が高い。日本語にも中国語にも複文の呼応関係を表す接続助詞(例えば:「なら」

「ので」「けれど」)がある。しかし、日本語ではそのような接続助詞が節末に現れ、中国語では接続助詞が文頭に現れる。CNSは接続助詞から後ろの発話を予測して従属節直後に割り込んで割り込まれた話者とともに発話を完成することがある。

## 5.2 割り込み発話の機能

割り込み発話の機能について、本研究では生駒(1996)、深澤(1997)の分類に基づいて、割り込み発話の機能を「発話の主導権を取るための割り込み」、「補足的な割り込み」、「共感・評価を示す割り込み」、「共話<sup>7)</sup>的な割り込み」の4つに分類する。

表4 割り込み発話の機能(網掛け部分は割り込み発話)

機能	特徴	具体例
発話権を取るための割り込み	割り込み話者が割り込まれた話者から発話権を取って自分を中心とするフロアを構築する。	(日) 1C-J4: 院-院で出て[新卒 2C-J2: [やっぱり(.)自分が辞めたら、たぶん誰かが埋めるわけじゃん 3C-J4: うん 4C-J2: だから…(後略) (中) 1C-C4: 就是说女性研究生出来了刚好属于那个[年龄段要结婚要生孩子 2C-C3: [但是你以为本科 儿的的女性就不会受歧视吗 3C-C4: 对呀 4C-C3: 女的读到博士也是会受歧视 和訳 1C-C4: つまり女性の場合は大学院を卒業する際に[結婚や育児の年齢となる。 2C-C3: [しかし大卒 の女性に差別されないというわけではないでしょう 3C-C4: それはそうだけど 4C-C3: 女性なら博士まで進学しても差別されるよ
発話権を取らない場合	割り込み話者が割り込まれた話者のフロア内で、割り込まれた話者の発話の内容を補足する。	(日) 1A-J1: 進学する場合でさ、お金が、に余裕がなかったら、どうするの 2A-J3: なかったら、就職だよねやっぱ。進学は(.)あれだよね。あのお金のある人の遊び的なあれと(2.0)お金がない-くても頑張って生活する人も[ 3A-J1: [なんかあるじゃん、奨学金とか 4A-J3: ああそういうのはなんか(あるよ)ね。 (中) 1A-C4: 对就会到时特别矛盾,你想哎呀年龄也大了,.h然后就是[特别复杂 2A-C3: [找工作特别难 3A-C4: 哦,对,你有时候就…(後略) 和訳 1A-C4: そうその時はすごく困る。ほら年も取ってるし.hそれで[非常に複雑 2A-C3: [就職は非常に難しい 3A-C4: うん, そう。ときどきは…(後略)

	共感・評価を示す割り込み	割り込み話者は割り込まれた話者のフロア内で、短い発話を挿入し、コメントや共感を示す。	<p>(日)</p> <p>1D-J4: 俺めっちゃ JAXA 行きた[いんだけど]</p> <p>2D-J1: [行きたい行きたい]</p> <p>3D-J4: heh 行きたいよね</p> <p>(中)</p> <p>1B-C2: 一边上班再往上一边深造的话会比你上[深造完了再去会比较好一点]</p> <p>2B-C1: [我也觉得这样好]</p> <p>3B-C2: 起码你能就是你能积累很多经验</p> <p>和訳</p> <p>1B-C2: 仕事しながら大学院に通っているのは大学院を出[て就職するよりいい]</p> <p>2B-C1: [私も]</p> <p>そのほうがいいと思う</p> <p>3B-C2: 少なくともたくさんの経験をもらえる</p>
両方とも可	共話的な割り込み	現話者の発話がまだ終わらないうちに、割り込み話者がその先の内容を予想して発話を挿入する。その後、発話権を割り込まれた話者に返す場合とそのまま割り込み話者が発話権を取って自分のフロアを構築する場合とがある。	<p>(日) 割り込みの後発話権を割り込まれた話者に返す場合</p> <p>1B-J3: え○○君は研究↑</p> <p>2B-J2: いや僕は[</p> <p>3B-J3: [ああ臨床↑]</p> <p>4B-J2: うん大学に残って外科医を, うん一応… (後略)</p> <p>(中) 割り込みの後発話権を割り込まれた話者に返さない場合</p> <p>1A-C3: 如果要是对要是考上公务员的话我就我-我就[</p> <p>2A-C2: [你就不去读]</p> <p>研究生了</p> <p>3A-C3: 哦, 对</p> <p>4A-C2: 但是现在考公务员特别难考</p> <p>(和訳)</p> <p>1A-C3: もし-もしそう公務員試験に受ければ, 私は-私は[</p> <p>2A-C2: [あ]</p> <p>あなたは進学を諦めるかな</p> <p>3A-C3: うん, そう</p> <p>4A-C2: でも今公務員の試験はととても難しい</p>

以下は日中両場面における各機能の割り込み発話の使用傾向を示したものである。

表5 割り込み発話の機能別出現頻度 (回数)

機能 場面	発話権を取る場合	発話権を取らない場合		両方とも可
	主導権を取る	補足的	共感・評価	共話的
JNS	12 (p<0.001)	36	9	6 (発話権を取らない:4/発話権を取る:2) (p<0.001)
CNS	36	18 (p<0.001)	2 (p<0.01)	25 (発話権を取らない:9/発話権を取る:16)

このように、割り込み発話を機能別に分けると、発話権を取るか取らないかという点で、JNSとCNSの間には有意差が見られた。まず、JNSは発話権を取らない「補足的な割り込み」や「共感・評価を示す割り込み」を多く使用し、相手の発話に割り込む場合にも、発話権を取るというよりは相手の意見を補足したり、自分の共感やコメントを示したりする傾向がある。これに対し、CNSは「発話権を取る割り込み発話」や「共話的な割り込み」(そのうち発話権を取る場合は16回ある)が多く、相手の発話の途中で割り込んで、発話権を取って自分を中心とする



フロアを構築する傾向がある。次節では割り込みが現れた後に発話権が会話参加者の間でどのようにシフトされるのかについて詳しく論じる。

## 6. 割り込みの後の会話の展開

3人以上の会話の場合、割り込みが現れた後、割り込み話者と割り込まれた話者は **turn** を中断したり継続したりして発話を調整する。それだけでなく、他の会話参加者もその割り込み発話をきっかけに、**turn** を取ってフロアを共有することがある。本節ではこのような発話権の取得に見られる日中の特徴の違いについて分析する。6.1 は日本語母語場面の会話の連鎖であり、6.2 は中国語母語場面の会話の連鎖である。

### 6.1 日本語母語場面の会話の連鎖

<割り込まれた話者の発話の継続>

1D-J2: うんでもまあそっちは進学はもともとしたくて来たから[大学に

2D-J1: [うん

3D-J1: [まあそうだね

4D-J4: [まあねえ

5D-J2: それ[ならもうな -

6D-J4: [そうだね。そう考えると進学かもな[確かに

7D-J2: [納得は行く。これ就職できなくてもまああ

そこチャンスあったけども、自分 - でも自分がしたいと思ったからって

8D-J2: だけどなんかこの就職しちゃったときは、こう不景気っていうこう状況振り回されて決めちゃったみたいなのがあるから

この例では、J2 が「もともと進学したくて大学に来たから」(1D) という考え方を述べた後で、自分の考え方について「それならもうな」(5D) と更に展開しようとする。しかし、その発話の途中で J4 が割り込んで、「そうだね。そう考えると進学かもな確かに」(6D) と最初の J2 の発話(1D) を補足する発言をしている。ここで **turn** を奪われていた J2 は J4 の「進学かもな」という発話の後で割り込んで発話権を取り戻し、「納得は行く…」(7D) と先に中断された「それならもうな -」(5D) という発話を完成させている。このように、J2 は 5D の発話をしている途中で発話が中断されてはいるが、6D における J4 の補足的な割り込み発話に割り込んで中断された発話を継続して自分のフロアを維持することが可能となっている。



< 割り込み話者と割り込まれた話者の間の発話権の争奪 >

1B-J3 : 私がやっぱ臨床, 臨床を見てそれを研究にも自分の専門にも生かしたいっ[て思うんだから↓

2B-J1 : [ああ :

3B-J2 : う↑ん

4B-J1 : まあ確かに[そのほうがもっと

5B-J3 : [いろんな - そう

6B-J3 : ちょ[つとせ -

7B-J1 : [自分のやってるのが実際に[その患者さん伝わっているのか効果が出るか見や[すいよね

8B-J3 : [そう

9B-J3 : [うん

10B-J2 : ああ確かに

11B-J4 : 専門っていうのはやっぱ[なんか

12B-J3 : [そう, ね

13B-J3 : せまくし - [視野が狭くなっちゃうから

14B-J1 : [そうだね. 狭いかもしれないね. それはあるね

この例では, J3 は「臨床を見てそれを研究や自分の専門にも生かしたい」(1B) という考え方を述べている. これに対し, J1 は J3 の会話をさえぎって「まあ確かにそのほうがもっと」(4B) と J3 に対し補足的な割り込みをするものの, 再び J3 が「いろんな」(5B) と割り込んで turn を取り戻し, 自分の考え方を展開しようとしている. ここで注目したいのは, 5B で J3 は J1 が「まあ確かに」(4B) と言った時点で後に「自分の…中略…見やすいよね」(7B) という内容が続くであろうことを予測して, 「いろんな」の後に J1 の発話を先取り予測して「そう」とあいづちをうっている. ここで J1 と J3 の発話がオーバーラップし, J1 も J3 も発話を中断した. その後, J3 も J1 も発話を再開しようとする際に, 再度話がオーバーラップした (6B, 7B). このときは, J3 が J1 に turn を譲った. J1 の発話 (7B) が終わった後, J2 は「ああ確かに」と短い発話で共感を示し (10B), J4 は「専門っていうのはやっぱなんか…」と補足的な発話をしようとしている (11B). しかし, J4 の発話がまだ終わらないうちに, J3 はまた「そう, ね」(12B) と turn に割り込み, J4 に共感を示している. これにより, J4 の発話は述部が産出されずに中断している. その後, J3 は「せまくし」(13B) と turn を取って, 自分の意見を構築し始めている. これは J3 が 6B で中断された発話を継続

したものであると同時に、11BでJ4が中断された発話を継続したものであるとも考えられる。しかし、ここでJ3がturnを取ろうとしている途中で、J1はまたJ3の「狭い」という発言を受けて、共感的な割り込みを行っている(14B)。これに対し、J3もJ1も自分のturnを放棄せず、自分の発話を遂げている。以上の例において、J3は1Bでフロアを築いた後にJ1の割り込みによってturnを奪われた。その後、J3はJ1及びJ4の発話に割り込んでturnを取り戻し、自分のフロアを維持している。

以上の2例に共通しているのは、割り込みが現れた後、発話権が主に割り込み話者と割り込まれた話者の間を行き来することである。日本語母語場面において、割り込みが現れた後、割り込まれた話者が自分の発話を継続するためにturnを取り戻し、フロアを維持し、他の会話参加者がコメント的な発話や補足的な発話によって、徐々に割り込まれた話者のフロアに参加することがある。

## 6.2 中国語母語場面の会話の連鎖

### <第3話者による発話権の奪取>

1B-C1: 你-heh 你的年龄是个问题而且你-你那个大-年龄到了, 然后是-一般企业招聘的时候-  
会根据[

2B-C2: [我出-我深造出来不一定要进企业的, 非要[

3B-C3: [对

4B-C2: 难道说就-就业非要进企业吗

5B-C1: 那[

6B-C3: [我们[为什么

7B-C4: [小○是想(.)当[教师, 对

8B-C1: [当老师

9B-C3: 而且就算不当老师这个世界上的工作岗位多的很你为嘛非要进企业呢  
和訳

1B-C1: あなた-heh あなたの年齢は問題になる。だんだん年を取ってるから。企業が人材を  
募集する時に根拠として[

2B-C2: [私は大学院を修了しても企業で働くとは限らない。必ず[

3B-C3: [そう

4B-C2: 就職するなら、企業に入らないとだめですか

5B-C1: それは[

6B-C3: [私たちは[なんで

7B-C4 : [〇さんは教師に[なりたいから. うん

8B-C1 : [教師になりたいか

9B-C3 : 教師にならなくてもこの世の中にいろんな仕事があるから, なんでそこまで企業に  
こだわるの

この例において, C1 は, 企業は人材募集する際に年齢も一つの条件として考えるため, 女性は進学してから企業の就職が難しくなるという考え方を表明している (1B). しかし, その会話が終了しないうちに, C2 は C1 の発話の内容を予測して, C1 の turn に割り込んで「大学院を修了しても企業で働くとは限らない」と自分の考え方を表明している (2B). このとき, C2 の発話の途中でもう一人の会話参加者である C3 が C2 の発話に対して「そう」と同意している (3B). それによって C2 の発話が中断された. その後, C2 は中断された発話を再開して「就職するならば, 企業に入らないとだめですか」と C1 に質問している (4B). C1 は「那 (それは) (5B) と答えようとするが, C3 に「私たちはなんで」と turn が割り込まれている (6B). しかし, C3 の発話がまだ終わらないうちに, 新たに C4 がその発話に割り込んで C2 の考え方 (2B と 4B) について補足的な発話 (「〇さんは教師になりたいから」を始めている (7B). その C4 の発話を踏まえ, C3 は「教師に…中略…こだわるの」と補足しながらまとめている (9B). 以上の会話の連鎖において, 最初は C2 が C1 の発話に割り込んで反対意見を表明しようとしたところへ, C3 が割り込んで C1 と C2 から発話を奪い, 自分のフロアを形成する.  
<フロアの分裂と統合>

1D-C3 : 主要咱们学的是中医嘛, 到时候考验的是那种实践能力了. 你说 7[年

2D-C2 : [我觉得还是:

3D-C3 : 7 年也差不多都学完了吧

4D-C2 : 经验比较差

5D-C1 : 差得很

6D-C3 : 7 年差不多书上[都应该学完了

7D-C4 : [哎没有没有

8D-C1 : [差不多学

9D-C4 : [咱们咋说还是临床方面的[还是要靠实践. 并不是说咱们就去搞科研, 去研究研究那个理论, 翻这翻那的

和訳

1D-C3 : 私たちの専門は漢方医学でしょう, その時実践能力が求められる. 7[年間

2D-C2 : [私が思うのはや

はり

3D-C3 : 7年間ってほとんど(基礎知識を)全部学び終わるでしょう

4D-C2 : 経験はまだ足りない

5D-C1 : かなり足りない

6D-C3 : 7年間って教科書(の知識)は大体[勉強し終わるはず

7D-C4 : [いやまだまだ

8D-C1 : [大体勉強

9D-C4 : [われわれは何と言っても臨床を勉強しているからやはり実践能力が大事. 理論を研究したり, 文献を読んだりするという仕事するわけでない

この例において, C3 は「漢方医のほうは実践能力が求められる」という意見を述べた後に, 「7年間」と更に発話を展開しようとしている(1D). その時, C2 は「私が思うのはやはり」とC3のturnに割り込んで, 自分の意見を構築し始める(2D). しかし, C2の発話がまだ終わらないうちに再びC3が割り込み, C2からturnを取り戻して最初の中断された発話を再開している(3D). C3の発話が終わった後, C2は再びturnを取って2行目の中断された発話を継続している(4D). その時点において, C3とC2は各自の意見を持っていて, 2つのフロアが形成されている. その後もう一人の会話参加者であるC1は「かなり足りない」と4DのC2の意見を補足している(5D). その後, C3は「7年間って教科書の知識は大体勉強し終わるはず」ともう一度3Dの発話を繰り返している(6D). その途中, C4は「いやまだまだ」と割り込み, C3の意見を否定している(7D). C3とC4の発話が終わった後, 先C2のフロアに参加したC1は「大体勉強」と発話し, C3のフロアに参加しようとするのを示している(8D). しかし, C1の発話はC4の発話(9D)とオーバーラップし, 中断された. その後C4はC3の意見(1D, 3D, 6D)とC2の意見(2D, 4D)をまとめながら, 自分の意見を述べ始めている(9D). 以上のように, 1D~4DにおいてC3とC2は割り込み発話によって, それぞれのフロアを形成している. その後, C2はC1に自分のフロアの構築に参加してもらったが, C3は発話を繰り返す(6D)ことによってC4とC1の参加を招き, 自分のフロアを維持している. その後の9Dで, C4の発話(「われわれは…中略…わけでない」)はC3とC2の両方の発話の内容に触れて, C2とC4の発話をまとめている. ここのC4の発話は二つに分裂したフロアを一つに統合することのみならず, C4による新しいフロアを築き始めるという役割も果たしていると考えられる.

以上の2例に共通しているのは、割り込みが現れた後、第3話者は発話権を取って自分のフロアを構築することである。中国語母語場面において、割り込みが現れた後、それをきっかけに、第3話者が発話権を取り、自分のフロアを築き上げている。この点について、5.1と5.2で提示した「中国語母語場面では文中の割り込みが多く、割り込み話者が発話に割り込んで発話権を取る傾向がある」という結論と関わっていると考えられる。

## 7. 終わりに

以上の分析を通じ、割り込みの位置については、JNSの場合は文末の割り込みが多くなるのに対し、CNSの場合は発話の途中での割り込みが多くなるということが分かった。先行発話との関係による割り込み発話の機能については、JNSは発話に割り込む際に、補足的な発話が多く、割り込まれた話者と共同で意見を構築するのに対し、CNSは発話の主導権を取る割り込み発話及び先取りの発話が多く、自分の発話を優先する傾向があることが分かった。割り込み後における会話の展開については、JNSの場合は、割り込まれた話者がturnを取り戻し、中断された発話を継続し、あるいは割り込み話者と割り込まれた話者の間にフロアを形成し、それ以外の参加者は徐々にフロアを共有する傾向があるのに対し、CNSの場合は割り込み時点において第3者がturnを取って、あるいは会話参加者全員が競争的にturnを取って各自のフロアを構築する傾向があることも分かった。

本研究は4人会話の割り込みを中心に日中対照分析を行った。今後は更に多くの自然会話のデータを収集し、日本語及び中国語におけるturnの構成について考察し、また割り込み後の会話の展開に現れるパターンについてさらなる考察が必要である。更に、日本語学習者が日本語母語話者と会話する際に、会話の流れを妨げないように、かつそこで行われた会話の内容をよく理解したうえで、いつ、どこで、どのような形で発話を始めるのかについても考察する必要がある。

## 注

- 1) 本研究では会話において現在話をしている話者（分析の基準となる話をしている話者）を「現話者」と言い、現話者の次に話をする話者を「次話者」と呼ぶ。また、現話者が話をしている途中で割り込みをする次話者を特に「割り込み話者」と呼ぶ。その時の「現話者」は「割り込まれた話者」に当たる。

2) 録音と録画が終わった後、文字化した。文字化の記号は以下のとおりである。

「[」: 割り込みの開始; 「-」: 直前の言葉が不完全なまま途切れていること; 「↑↓」: 音調が極端に上がっていることと極端に下がっていること; 「(.)」: 短い沈黙; 「言葉:」 音を延ばしている; 「heh,huh,hhh」: 笑い; 「.h」: 発話の途中の吸気; 「(言葉)」: 不明瞭な発話。

3) 発話文の分類について、宇佐美 (2007) の発話文の認定の仕方に従い、発話文を「1語の発話文」「中途終了型発話文」「中断された発話文」「あいづちに挿入された発話文」「先行部・後続部とまとめて1発話文」などに分類する。

4) その割り込み発話によって割り込まれた話者の発話を中断する場合もあり、割り込まれた話者と割り込み話者とともに発話を並行して産出する場合もある。なお本研究で考察する「割り込み発話」は、杉戸 (1987) で定義されている「実質的な発話」を中心とするものである。「ああ」「うん」「そう」のような応答詞を中心とするあいづち的な発話は含まれていない。

5) 「1D-J4」について、「1」は話し手の当該会話の発話順序を表し、「D」はデータの順序番号を表し、「J」は JNS (Cは CNS) を表し、「4」は4人の被調査者の識別番号を表す。以下同様。

6) 西阪 (2005) ではプロソディの観点から「動詞や名詞の後につく『て』『で』『が』『から』などの接辞の発せられ方」について、「その語の最後の音に強意が置かれ、やや音調はその分やや高くなるがすぐにもとに戻ってくるような場合には、話者は、一方で、その後また自ら話を続けてよい場所であることを主張しつつ、他方で、相手に何らかの反応を産出する機会を差し出している」と指摘されている。以上の指摘の中での相手による産出される何らかの反応はあいづちを含むことがある。

7) 本研究で取り上げている「共話」は、Szatrowski (2003)で指摘されている「二人以上の話者が作り上げる統語上の単位(句、節、分、複文)からなるもので、後の話者が先の話者の発話を付け足したり、その発話を完結させたり、先取りしたり、自分の発話に取り込んで言ったり、言い換えたりする発話」の一種類である。

## 参考文献

- 生駒幸子 (1996) 「日常会話におけるは発話の重なる機能」『世界の日本語教育』6 国際交流基金日本語国際センター pp.185-199
- 宇佐美まゆみ (2005) 「BTSJ: 基本的な文字化の原則について」『談話研究と日本語教育の有機的統合のための基礎的研究とマルチメディア教材の試作』平成 15-18 年度科学研究費補助金基盤研究 B(2) (研究代表者: 宇佐美まゆみ) 研究成果報告書
- 榎本美香 (2008) 「会話・対話・談話研究のための分析単位・ターン構成単位 (TCU) -」『人工知能学会誌』23 巻 2 号 pp.265-270

- 木暮律子 (2002) 「話者交替における発話の重なり—母語場面と接触場面の会話について—」  
『日本語科学』11 国立国語研究所 pp.115-134
- Szatrowski, Polly (2003) 「共同発話から見た『人称制限』, 『視点』をめぐる問題」『日本語文法』3pp.149-66
- 杉戸清樹 (1987) 「発話のうけつぎ」『談話行動の諸相: 座談資料の分析』 pp.68-106
- 高原脩・林宅男・林礼子 (2002) 『プラグマティックスの展開』 pp.153-158 勁草書房
- 中井陽子 (2006) 「会話のフロアにおける言語的/非言語的な参加態度の示し方-初対面の日本語の母語話者/非母語話者による4者間の会話の分析-」『講座日本語教育』42号 早稲田大学日本語研究教育センター pp.25-41
- 西阪仰 (2005) 「複数の発話順番にまたがる文の構築」『活動としての文と発話』 pp.63-89 ひつじ書房
- 深澤のぞみ (1997) 「会話への積極関与としての割り込み発話—異文化間コミュニケーションの会話分析—」『社会環境研究』2 金沢大学大学院社会環境科学研究科 pp.131-139
- Edelsky, Carole. (1981) "Who's got the floor?", In Deborah Tannen, *Gender and Conversational Interaction*. Chapter8: Oxford Studies in Sociolinguistics, pp.189-227.
- Sacks, H. (1972) "On the analyzability of stories by children", In J.J. Gumperz & D.Hymes (eds.), *Directions in Sociolinguistics*. New York: Holt, Rinehart, & Winston, pp.325-345.
- Sacks, H., Schegloff, E. A. & Jefferson, G. (1974) "A simplest systematics for the organization of turn-taking for conversation", *Language*, 50(4), pp.696-735

(名古屋大学大学院国際言語文化研究科)